

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

No.7

2022.3

- FOCUS
オープンイノベーションセンター
2022年4月始動
- TOPIC
美幌町と北見工業大学との
包括的連携協定締結
「アグリビジネス創出フェア 2021」へ出展
北海道中小企業家同友会オホーツク支部
「第2回ビジネスマッチング交流会」
- 共同研究
- スタッフ活動



FOCUS

オープンイノベーションセンター (ACE) 2022年4月始動

北見工業大学は、2022年4月、「商学」を専門とする小樽商科大学、「農学」を専門とする帯広畜産大学、そして「工学」を専門とする北見工業大学の三大学が法人統合し「北海道国立大学機構」を創設します。創設にあたり、「オープンイノベーションセンター」を設置します。オープンイノベーションセンターとは、三大学お互いの強みを連携して行う商農工分野融合研究を企画・推進し、「知の社会実装」の実現を目指す研究拠点です。また、このオープンイノベーションセンターには、帯広畜産大学の「Agriculture (農学)」、小樽商科大学の「Commerce (商学)」、そして北見工業大学の「Engineering (工学)」から、愛称ACE (エース) が付けられています。北見工業大学は、このACEの本拠地となります。

ACEでは、第1次産業に代表される北海道の主要産業の活性化に資する研究、また、地域から要望の高い、「AI/IoTスマート農畜産業」、「防災」、「観光」などの研究を重点的に推進していきます。さらに、研究データ管理基盤 (GakuNin RDM^{*1}: ガクニン アールディーエム) や超高速学術情報ネットワーク (SINET^{*2}: サイネット) など、国のICT基盤を活かした三大学情報共有システムを構築します。このシステムの本格的な始動を前に、すでに研究者間では高速・大容量で、かつ情報や通信路などが安心できる本システムでの研究データの共有を試行し始めています。今後は、三大学での研究情報を統合管理し、研究力向上と技術の社会実装に向けて活用・発信していきます。商農工分野融合研究推進にあたっては、三大学の研究者による分野融合型共同研究もスタートし、地域の課題を拾い上げる産学官金連携プラットフォーム等の体制が整いつつあります。

社会連携推進センターは、ACEの機能も担います。従来の工学的支援のみならず、商学や農学・畜産学など幅広く支援することが可能なワンストップ対応の体制が整うこととなります。これまで以上に当センターをぜひご活用ください。

*1 : GakuNin RDM(research data management) : 個人の研究者や研究者グループが研究プロジェクト単位で研究データを管理できるツール

*2 : SINET (Science Information NETwork) : 国立情報学研究所(NII)が構築、運用している大学、研究機関等に対して先進的な超高速学術情報ネットワーク

TOPIC

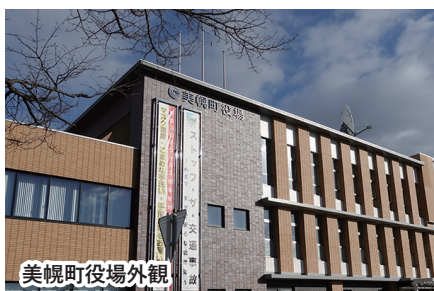
美幌町と北見工業大学との包括的連携協定締結

北見工業大学は、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、北見市に近隣する美幌町との包括的連携協定を締結しました。

12月14日(火)には美幌町役場において、平野美幌町長と鈴木学長による締結式が行われました。

本協定では、1) 地域づくり・まちづくりの推進、2) 学術振興、教育及び人材の育成、3) 産業振興、観光振興など地域経済の発展、4) 公共交通及び防災対策の推進等について連携協力することとしています。平野町長からは、「地域課題の解決にあたり、専門的知識を有する北見工業大学との連携は、地域に根差した身近にある大学として大変心強く思っている。将来に向かって信頼関係をしっかりと構築していきたい。」と本学との連携への期待をいただきました。

本学と美幌町は今後、連携推進に向けた会議を定期開催し、まちづくり活動への学生の参画等、美幌町をフィールドとした教育・研究活動など、幅広い連携活動に取り組んでいきます。

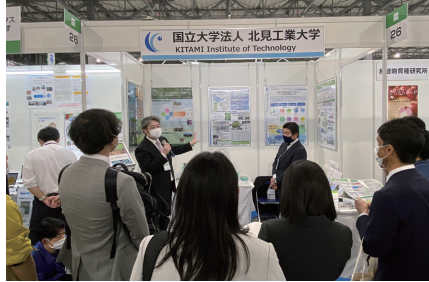
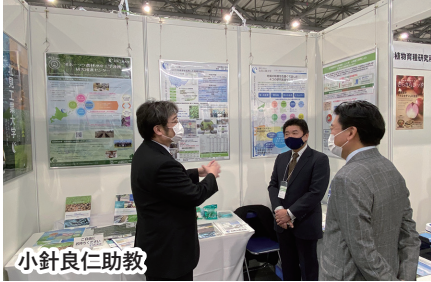




TOPIC

「アグリビジネス創出フェア2021」へ出展

「アグリビジネス創出フェア2021（農林水産省主催）」が11月24日（水）から3日間、東京ビックサイトを会場とし、オンラインとの併用で開催されました。本イベントは、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野等の最新の研究成果を紹介しマッチングを図る技術交流展示会です。北見工業大学からは、地球環境工学科の小針良仁助教が取り組む「薄荷油のマイクロ波無溶媒抽出技術」と、本学オホーツク農林水産工学連携研究推進センターの取組を紹介しました。また、2022年4月に設置されるオープンイノベーションセンターについても紹介を行いました。



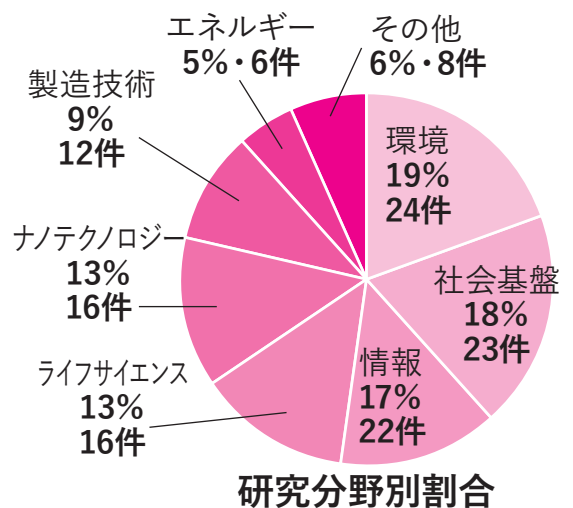
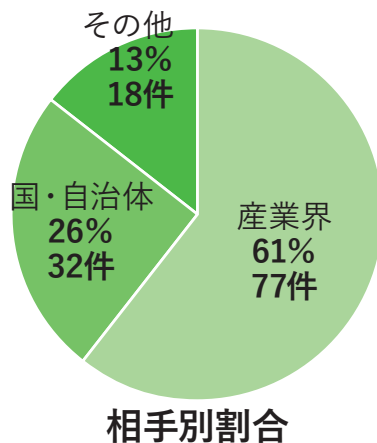
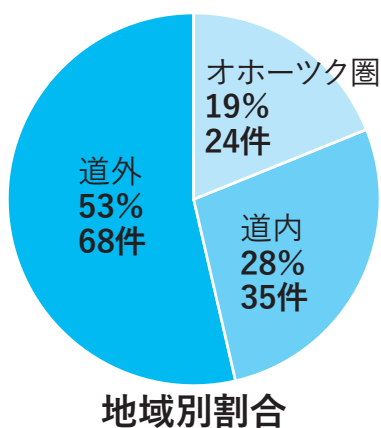
TOPIC

北海道中小企業家同友会オホーツク支部「第2回ビジネスマッチング交流会」

一般社団法人北海道中小企業家同友会オホーツク支部は、12月8日（水）に、「会員同士で繋がろう！第2回ビジネスマッチング交流会～あの会社ってどうゆう会社？～」を開催しました。第1部には、当センター長・教授の藤井享と准教授三枝昌弘が登壇し、地域における工学技術のあり方と活用方法、北見工業大学が取り組む産学官連携の事例報告を行いました。第2部では、参加者が所属する会社等の紹介や開発商品の紹介が行われ、地域にある大学の活用方法などについても議論が活発に行われました。



共同研究 2021年度 127件（3月1日現在）



| 主たる活動 | スタッフ | 日程 |
|---|------------------|----------|
| [北見市] 令和3年度北見市技能普及実行委員会 | 会議 内島 | 12月1日 |
| [その他] ¹⁾ 第2回ビジネスマッチング交流会 | 会議 藤井・三枝 | 12月8日 |
| [他大学] 令和3年度帯広畜産大学産学官連携交流会“Campus Meeting” | 会議 三枝 | 12月9日 |
| [3大学] ²⁾ 令和3年度第3回オープンイノベーションWG* | 会議 藤井・内島 三枝 | 12月10日 |
| [その他] ³⁾ チャレンジフィールド北海道第3回グロスチーム会議* | 会議 藤井・三枝 | 12月15日 |
| [その他] ⁴⁾ 「2050年のオホーツクを考える」オンラインミーティング* | 会議 内島 | 12月16日 |
| [CRC] 北見工業大学社会連携推進センター産学官連携推進員・協力員合同会議 | 会議 藤井・内島 三枝 | 12月17日 |
| [北海道] 北見市指定管理者候補者選定委員会 | 会議 内島 | 12月23日 |
| [その他] ⁵⁾ 地域を彩る食物語 | イベント 藤井・内島 三枝 | 1月12~17日 |
| [その他] ³⁾ チャレンジフィールド北海道第8回戦略推進チーム会議* | 会議 三枝 | 1月14日 |
| [他大学] 第1回帯広畜産大学産学連携センター外部評価委員会* | 会議 三枝 | 1月21日 |
| [3大学] ²⁾ オープンイノベーションセンター管理運営検討チーム会議* | 会議 藤井・三枝 | 2月1日 |
| [3大学] ²⁾ オープンイノベーションセンター産学官共同研究検討チーム会議* | 会議 藤井・三枝 | 2月2日 |
| [3大学] ²⁾ オープンイノベーションセンタービジネス戦略検討チーム会議* | 会議 藤井・三枝 | 2月2日 |
| [その他] ³⁾ チャレンジフィールド北海道第9回戦略推進チーム会議* | 会議 三枝 | 2月7日 |
| [北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議 | 会議 藤井 | 2月8日 |
| [他大学] 第2回帯広畜産大学産学連携センター外部評価委員会* | 会議 三枝 | 2月14日 |
| [北海道] 令和3年度第3回北海道科学技術審議会* | 会議 内島 | 2月16日 |
| [その他] ³⁾ チャレンジフィールド北海道第4回グロスチーム会議* | 会議 藤井・三枝 | 2月21日 |
| [美幌町] 美幌町定例連携探索会議 | 会議 内島・三枝 | 2月28日 |
| [3大学] ²⁾ オープンイノベーションセンター研究データ統合・活用検討チーム会議* | 会議 三枝 | 3月1日 |
| [国] 令和3年度JST産学官連携ジャーナル発行推進委員会* | 会議 内島 | 3月2日 |
| [3大学] ²⁾ 令和3年度第4回オープンイノベーションWG* | 会議 藤井・内島 三枝 | 3月4日 |
| [北見市] 北見市技能普及実行委員会講演会 | 会議 内島 | 3月9日 |
| [他大学] 山口大学知的財産教育研究共同利用拠点運営委員会 | 会議 三枝 | 3月10日 |
| [国] JST産学コーディネーター育成プログラム委員会 | 会議 内島 | 3月17日 |

[]内は主な主催機関

*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1) 一般社団法人北海道中小企業家同友会オホーツク支部

2) 小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学

3) 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

4) 北海道開発局網走開発建設部地域振興対策室 5) 北見市産学官連携推進協議会



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2

TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター (CRC, Center for Regional Community)

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、“Center for Regional Community”の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>

chiiki@desk.kitami-it.ac.jp